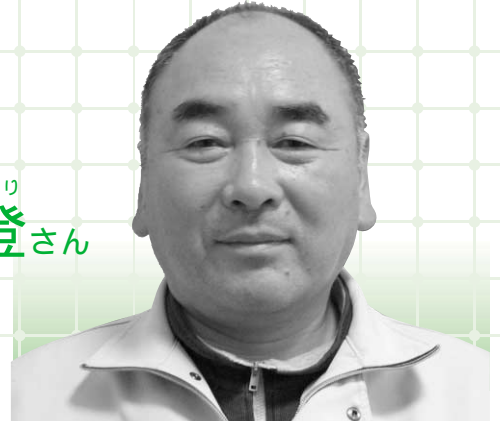


ひらやま よしのり
平山 美登さん



プロフィール

54歳。上県町佐護出身、在住。上対馬高校卒業後上京。アルバイトで学費や生活費を稼ぎながら大学の夜間部で土木を学ぶ。卒業間近に家庭の事情で帰郷。数社の土木会社に勤務するも、昨年ヘルニアの悪化で退職。現在、佐護区総区長。あじさい祭りやパラグライダー大会、千俵蒔山草原再生プロジェクト、佐護ヤマネコ稲作研究会など佐護地区でのイベントや取り組みに関わる。学生時代の絶対趣味はスキー。今は仲間とくみ交わす杯が何よりの楽しみ。

上京して新聞奨学生としての学生生活はご苦労だったのでは？

いやあ、そうでもないですよ。おやじが丈夫じゃなくて、中学校とずっと家の手伝いをしていたので、働くことが苦になるというのにはなかつたです。働いてお金を稼いで、あとは自分の好きなように使うのは当たり前と言えれば当たり前だったから。在学中も、学費や生活費を稼がなくてはいけなかつたので途中休学もしながら。結構おもしろいバイトをいろいろしました。朝は新聞配達、11時頃までケーキ配達でしょ、そのあとチラシ入れ、夜は寿司屋のバイト、深夜に病院の清掃。一度就職もしました。

東京での生活は充実されていたらよかったですね。

いろんな人と出会いました。なかでも大田区の住宅地にある自転車屋のおじさんはすごい人だった。酒も競馬もするけれど早朝から店の前はきれいに水が打ってあるし、300円でパンク修理したら自転車がピカピカになって、配達もする。赤字やろうと思うでしょ？繁盛してるんですよ。商売ってこんな風に

するんだな、って。対馬に帰って就職した建設会社の社員教育で「自分のためにするのでなく、人のためにするのが商売」と教えられました。一人ずつの印象が良ければ相手への印象が良くなって会社の徳になるという社長の考えなんです。自転車屋さんの話に繋がるんですよ。

佐護の総区長をお務めですが、さまざまな行事をされていますよね。

3月には千俵蒔山の野焼きを行いましたし、今後はあじさい祭り、パラグライダー大会があります。10年ほど続く行事ですが、物事をみんなでやり遂げる楽しさとか雰囲気が好きです。今ではあじさいの剪定や砂浜の清掃などボランティアで多くの人が集まってくれますが、少ない頃もありました。でも、何度も何度も話をすることで輪になっていくと思ってるから気にしてなかつた。今では毎回来てくれる人もいるほどで、いい感じだなあと思います。

人間だから、何か上昇していかなくてという思いがあるんです。ちょっとしたことでも毎年新しく、何か付け加えられたら、と。佐護区がこうしてまと

まってるので、今年は何か事業を起こす、営業のようなことができないかと思ってるんです。これからは攻めの活動が始まりそうです。

そうしていったほうがやる人のやりがいも出てくるんじゃないかと思うんです。地元にあるものを利用して、それをどんなふうにも精神的に栄養剤にするか、経済的にも利用できるかをみんなで考えていきたい。ヤマネコが住みよい環境を作るために米耕作の農薬を50%以上減らして作った米を「ツシマヤマネコ米」として付加価値をつけて販売する販路も課題だし、あとは森を使った仕掛けを佐護区として始めてみたいとも思っています。いろんな人が関わってくれたらいろんなアイデアも加わる、いろいろ考えるのが楽しいし、自分のやってる仕事についてわくわくできるじゃないですか。結構、こういうのが私自身好きみたいですね（笑）。

毎回、登場してくださった方に次の方をご紹介いただくこのコーナー。次回は上県町佐護在住の春日嶋清さんです。お楽しみに。